

伊賀市 事務事業評価シート

施設の管理・運営

事業名	870	交通安全施設維持修繕経費	会計	01	一般会計
基本施策	12	犯罪や交通事故を未然に防ぐ	款	08	土木費
			項	02	道路橋りょう費
			目	06	交通安全施設整備事業費
担当部課名	青山支所産業建設課		細目	101	交通安全施設維持修繕経費
作成者氏名	山内 敏	連絡先	細々目	01	交通安全施設維持修繕経費
		52-3220			

事業の計画・内容

設置目的	対象等(何を、誰を)	道路危険箇所 道路利用者	成果(どうなるのか)	安全対策を行い、交通事故の抑止と重大事故の低減を行う。
	本年度事業内容	カーブミラーの設置、ガードレールの設置、区画線の修繕。		
運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託等 (委託先: 建設業者)		根拠法令・要綱等	道路構造令
市内の類似施設				

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.2	0.2	0.2
	人件費合計(A)	1,440	1,440	1,440
②支出内訳(千円)	事業費(B)	2,139	2,100	2,100
	委託料		400	
	工事費	2,139	1,700	2,100
	その他			
合計(A+B)		3,579	3,540	3,540
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	受益者負担			
	その他特財			
一般財源		3,579	3,540	3,540
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
カーブミラーの設置	箇所	2	2	2			
ガードレールの設置	m	108	110	120			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
危険箇所数の低減	市道における道路構造令等の一定基準を満足できていない危険箇所について、無対策箇所の解消を図る。	箇所	7 目標 ()	7	7
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

当管内の市道は主に山間地域を走り、未改良の狭隘な幅員の路線が急峻なげ地に急カーブの連続といった路線、箇所も多く、交通安全施設が不十分な状況にある。このため、毎年、予算の範囲内で比較的交通需要の多い、危険度の高い路線・箇所を選定し改善を行ってきた。しかし、この要求度(危険、需要)の決定は、関係者の主観的な面が多く、客観的な数値基準に基づく整備水準の策定と、その水準に照らした緊急順位に基づき順次整備する必要がある。

評価	必要性	4	客観的な整備基準に基づく整備がされていない。現に発生した事故等の箇所に対し、再発防止を主な目的に整備している。本来、未然防止すべきであるので、要求度の高い箇所について整備する必要がある。	総合評価 B
	有効性	4		
	達成度	2		
	効率性	2		